

from

ほうかつ

令和8年3月発行

聞いたことあるけど…実はよく知らない…

特集

地域福祉計画について



Q 地域福祉計画ってなに？

地域福祉計画は、子どもから高齢者まで、“障がい”のある人もない人も誰もが安心して暮らせる地域を目指して、町と住民、関係団体が一緒につくる“約束”です。檜葉町では“みんなで支え合い 幸せを実感できるまち”を共通の基本理念として、地域福祉関連計画を策定しています。高齢・障がい・子ども・健康に関する各計画が相互に整合性を持つことにより檜葉町における地域福祉施策を一体的に推進しています。

Q なぜ、地域福祉計画が必要なの？

私たちの暮らしは、家族構成や働き方、地域のつながりなどが大きく変わってきました。



- 高齢者のひとり暮らしが増えている。
- 子育てや介護を一人で抱え込みやすい。
- ご近所同士のつながりが弱くなっている…等

こうした中で「困ってから助ける」だけでなく、「困る前につながる」ことが大切になっています。

社会福祉の基本理念である「地域福祉の推進」では、地域住民や社会福祉事業者、社会福祉活動を行うものは、相互に協力し、地域福祉の推進に努めなければならないとされています。

こうした地域福祉を推進するために、行政だけに任せるのではなく、住民・地域・団体が一緒になって支え合う仕組みとして地域福祉計画は作られます。

Q なにが書かれているの？

- ① 高齢・障がい・子ども・健康…各分野に関する共通の取り組み
- ② 各福祉サービスが適切に利用できるための取り組み
- ③ 地域のさまざまな活動・事業がスムーズに運営できるための取り組み
- ④ 住民が福祉活動に参加、交流しやすくするための取り組み
- ⑤ 分野横断的に町全体を支援できる体制を整備する取り組み

Q 結局、なにを目指すの？

“みんなで支え合い 幸せを実感できるまち”を目指しています！

Q どうやって計画づくりに参加するの？

アンケートや住民懇談会、子育て座談会などを通じて、住民のみなさんの声を反映しています。（今年1月～2月にかけてアンケートが実施されました。）

計画には見直しがあります！ 来年度（令和8年度）は、 高齢者福祉計画の見直しです！



来年度は3年に1度の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直し時期の為、今年1月～2月にかけて65歳以上の方を対象としたアンケート調査が実施されました。実施した住民向けアンケートのご意見等をもとに、計画の策定委員会において施策の評価や目標値の点検・見直し等が進められる予定です。

檜葉町地域包括支援センターと檜葉町社協居宅介護支援事業所では、ご自身だけではアンケート調査の回答等に不安がある方を中心に、直接聞き取りをさせていただきました。

聞こえてきた高齢者の声

- 「このアンケートが、町の計画につながるとは知らなかった。」
- 「地域にどのようにつながっていくの？」
- 「高齢になり、質問事項が多いと、一人だと答えるのが不安だわ…」
- 「聞きなれない専門用語があったり、説明文が難しい箇所もあった。」
- 「いつもなら回答が大変で返信しなかったこともあったけど、聞き取りしてもらうことで自分の意見を伝えられてよかった。」
- 「生活や暮らしに自分たちの声がどのようにつながっているのか、実感しにくい。目に見えづらい…」
- 「独居高齢者等、内容が難しいと回答しにくい。返信している人だけの意見になってしまっていないか？」

アンケートに回答していただくための、課題発見！！

いただいたご意見は、町の担当係と共有して、3年後のアンケート調査に活かしていきます。

毎年開催している檜葉町地域包括ケアシステム構築推進シンポジウム「ならはコミュニティコレクション（通称：ならコレ）」でも、子どもから高齢者まで認知症や障がいの有無に関わらず、誰もが地域で生き生きと暮らしていくための地域福祉計画についての説明も交えて地域の皆さんに共有しています。

高齢や障がいのある方々の中には支援の必要な方もいますが、そうした人たちも含め、すべての町民が生活の拠点である住み慣れた地域で、家族や隣近所との温かな絆を保ちながら、地域の一員としてのつながりを持って生活を送ることが重要と考えています。

地域福祉計画は、地域福祉関連施策の推進と仕組みづくりを通じて、幅広い町民の主体的な参加と関係機関、行政の協働のもとに「みんなで支え合い 幸せを実感できるまち」（現行計画の基本理念）を実現することを目的としています。

檜葉町地域包括支援センターでは、これからも、地域の方へおじゃまさせていただき、地域の方々の声を聴き、町、関係機関と連携しながら、地域福祉の実現を目指していきます！

※檜葉町地域福祉計画は、檜葉町役場ホームページからご覧いただけます。ぜひ、この機会にチェックしてみてくださいね♪



高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5（檜葉町保健福祉会館3F）

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽にご相談ください。



地域づくり
の今!

福島県立ふたば支援学校を初取材!!

～支援学校から広がる地域とのあたたかいつながりの輪～



今年1月、福島県立ふたば支援学校で、地域の皆さんとの餅つき交流会が行われました。

北田地区の山内康一さんからもち米の提供があり、上井出地区の皆さんの協力を得て、支援学校での餅つき交流が実現しました。今回は、支援学校で生まれた地域とのあたたかい交流をご紹介します!



大歓声で「よいしょーっ!」の掛け声♪
大盛り上がりの餅つきとなりました!



がんばれー!



地域の皆さんや先生が
心を込めて作ります!

子どもたちに
喜んでもらいたいです♪

おいしいお餅が
できました♪



小学生から高校生まですべての生徒が参加し、大盛り上がりの餅つき交流会となりました。地域の皆さんと子どもたちが一緒にテーブルでお餅を囲み、「お餅おいしいね」「餅つき頑張ったね」「全部食べたよ!」と会話を楽しみながら、和やかなひとときを過ごしました。

ふたば支援学校から広がる 地域とのつながりの輪



福島県立ふたば支援学校は、障がいを持つ子どもたちが地域社会の中でよりよく生活するための力を身につけることを目的とし、昭和53年に「富岡養護学校」として開設されました。令和6年に「ふたば支援学校」へ校名を変更し、令和7年1月に避難先のいわき市から檜葉町に新設・移転しました。『地域と共に 生きる はぐくむ 育ち合う』の理念のもと、様々な地域との交流を通して、お互いを理解し、地域を共に創る“地域共生社会の輪”が広がっています。



檜葉町地域包括ケアシステム

まじわる つながる 支え合う リレー

第20走者

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。檜葉町観光協会から檜葉町商工会青年部にバトンが繋がりました。

地域活性化に向けて
みんなで楽しく
活動しています!



檜葉町商工会青年部 & 事務局の皆さん

●部長 大和田 敏さん(中央)
●副部長 飯島 隆幸さん(左) ●事務局 柴崎 幸大さん(右)

檜葉町商工会青年部

檜葉町商工会は、様々な事業者が会員となり、商工業の振興や互いの事業発展のために活動を行う公的団体で、今年で64周年を迎えました。青年部は20～40代の会員が中心となり、イベントへの出店や行事参加、ボランティア活動等の幅広い活動を行い、地域貢献活動に取り組んでいます。



檜葉町商工会青年部の主な活動

- イベント出店**
木戸川でのスワン祭やサマーフェスティバルをはじめ町内外でのイベント出店・協力をし、檜葉町の素晴らしさを発信しています!
- こども園での行事参加**
こども園での季節行事にも参加しています。節分の日には、鬼に扮した私たちを見て泣いてしまった園児もいましたが、最後はみんなでハイタッチをして笑顔あふれる一日となりました!
- ボランティア清掃活動**
地域の清掃活動に参加しています。
- 月例会**
青年部のより良い活動に向けて事業計画等のアイデアを話し合っています。

檜葉町商工会青年部と地域とのつながり～青年部として今後取り組みたいこと～

私たち青年部は、商工会事務局や女性部と連携し、職種の異なる会員どうしで交流を深めながら様々な活動に取り組んでいます。事務局の柴崎さんにも青年部の活動に協力いただいています。地域に根差した商工会として町の魅力を発信し、地域行事に参加しながら、これからも地域のため、檜葉町のためにつながる活動を行っていきたくです。今後は、檜葉町社会福祉協議会や地域包括支援センターとも連携し、子どもから高齢者の皆さんまで多世代に向けた地域貢献活動を考えていきたいです。



～みんなのつばやき～『私の苦手なこと』

センター長 江尻

生活支援コーディネーター 小林



苦手なことは、節約です。
ムダも時に大事とってしまう
のです。



料理が苦手です! 檜葉には、
料理上手な方がたくさんいて
尊敬しています♪

社会福祉士 岡崎

看護師 馬上



整理整頓が苦手です。
職場の机を常にキレイにできるよ
う心掛けます!



文章をまとめることが苦手。
とてもくどいんです。

